

医療面接・歯科臨床判断学（診療の基本 - ）

| | |
|----------|---|
| 4 年次 前学期 | 授業科目責任者：牧村 正治（歯科臨床検査医学） ユニット責任者：伊藤 孝訓（歯科総合診療学） |
|----------|---|

| | |
|--------------------------|--|
| 学習の目標 (GIO) | 「診断する」とは、患者に付随している異常な状態を病態生理学的立場のみならず、心理的、社会的要因を含む広い立場から、現状で可能な診断情報を収集し、総合的な（病態、臨床疫学的な確率データ、患者の意向・価値観、医師と患者の心理など）判断に基づいて最適な医療を行うための根拠を得る過程（プロセス）であることを理解する。 「歯科総合診療学」とは、歯科医学の細分化傾向に対して口腔疾患を総合的に診るとともに、患者の全身機能との関連、生活習慣や環境などの背景をも配慮し、歯科の common disease を対象にプライマリ・ケアとして治療と継続的なフォローを包括的に行う学問であることを理解する。 |
| 授業担当者 | 伊藤孝訓, 吉野祥一, 内田貴之, 多田充裕, 青木伸一郎, 岡本康裕, (歯科総合診療学) |
| 教科書 | 「歯科医療面接アートとサイエンス」藤澤盛一郎, 笹原廣重編著, 砂書房 (第2版) その他にプリントを配布する。 |
| 参考図書 | 「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」伊藤孝訓, 寺中敏夫編集, クインテッセンス出版 「イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー 患者の診かたと歯科診療」黒崎紀正他編集, 医歯薬出版 「臨床医になるための必修アイテム」医療面接から臨床判断学まで, 竹村洋典, 南江堂 「臨床入門 臨床実習の手引き」福井次矢, 医学書院 「口腔診断学」下里常弘他, 医学書院 「歯科口腔診断ハンドブック」増田 屯, 藤澤盛一郎, 医学情報社 「歯科医のための医療コーチング入門」岸 英光, 砂書房 |
| 実習器材 | なし |
| 評価方法 (EV) | 成績評価は、定期試験 (80%), 小テスト・演習 (10%) および出席・講義中の態度 (10%) を勘案し総合的に評価する。再試験の範囲はすべての範囲とする。 |
| 学生への メッセージ オフィスアワー | 医療の本質は不確実性にあるといわれており、この問題に対処する方法として、本講義は歯科医師として眼前の患者さんに最良な治療やマネージメントが奏功できるように、臨床各科の知識を頭の中で整理統合し、再編成できる考える力を育てる学問であり、臨床において患者に対応する際に即役立つことなので、興味を抱いて講義に参加して欲しい。E-mail(shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。 |

| 日程 | 授業項目 | 授業内容・行動目標・学習方略 (SBOs) (LS)・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準 | 授業担当者 |
|-------------------------------------|--|--|-------|
| 4 月 7 日 (木) 1 時間 9:00 ~ 9:50 | ガイダンス 1) 医療者の態度 2) 診断学とは 3) 医療の不確実性 4) 患者医師関係 | 【準備学習項目】 ・医療者としてふさわしい態度について説明できる。 【講義】 ・期待される医師の態度を説明できる。 ・口腔診断学と歯科総合診療学を説明できる。 ・総合診療学の歯科臨床における役割を説明できる。 ・臨床情報には不確実性要素を含み、不確実性下で臨床判断を行うことを説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < B-1-1) ~ 4)/ 必 -2-B > | 伊藤孝訓 |
| 4 月 14 日 (木) 1 時間 9:00 ~ 9:50 | 臨床判断学 (1) 1) 診断論理 2) 医学判断学 3) 問題発見・解決法 4) 診断プロセス | 【準備学習項目】 ・基本的な問題解決法について説明できる。 【講義】 ・基本的な診断論理を説明できる。 ・意思決定の方法について説明できる。 ・診断プロセス (診断情報の収集・分析・決定) について列挙し説明できる。 ・医学判断学について説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < B-1-1) ~ 4)/ 必 -12-A, 必 -12-B > | 同上 |
| 4 月 21 日 (木) 1 時間 9:00 ~ 9:50 | 臨床判断学 (2) 1) EBM 2) 決断分析の実際 | 【準備学習項目】 ・EBMについて説明できる。 【講義】 ・診断テストを使うことができる。 ・EBMの背景を概説できる。 ・EBMの概念を説明できる。 ・臨床判断分析の手順を説明できる。 ・Decision tree による実際例を説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < B-1-4), C-4-1)/ 必 -12-A, 必 -12-B > | 内田貴之 |

| 日程 | 授業項目 | 授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準 | 授業担当者 |
|------------------------------|--|---|-------|
| 4月28日(木) 1時間 9:00～9:50 | 医師の心理 1) 誤診 2) 医療過誤最小化 | 【準備学習項目】 ・医療過誤について説明できる。 【講義】 ・経験則による判断に内在する問題やバイアスを説明できる。 ・臨床判断時の誤診を導く心理特性について説明できる。 ・診断プロセスの各ステップに起こるバイアスを説明できる。 ・ヒューマンエラーについて説明できる。 ・歯科の医療過誤訴訟の特性について説明できる。 ・クリティカルパスについて説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < A-5-2)/ 必-4-B, 必-4-D > | 伊藤孝訓 |
| 5月12日(木) 1時間 9:00～9:50 | 患者の心理 1) 歯科患者の特異性 2) 心理的配慮 | 【準備学習項目】 ・歯科患者の心理状態について説明できる。 【講義】 ・歯科患者の特異的な心理状況について説明できる。 ・患者対応時の注意点を挙げる。 ・患者の望む治療者(歯科医師)の人間像を説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < B-2-2)/ 必-2-B, 必-10-I > | 多田充裕 |
| 5月19日(木) 1時間 9:00～9:50 | 医療面接(1) 1) 患者本位の治療 2) コミュニケーション 3) OSCE | 【準備学習項目】 ・患者の医療に対する希望を説明できる。 【講義】 ・患者の権利と義務について説明できる。 ・患者本位(中心)の医療を説明できる。 ・インフォームドコンセントの医療現場における実践を説明できる。 ・コミュニケーションの重要性を説明できる。 ・患者とのよい関係を確立するための方法を説明できる。 ・OSCEの目的, 意義, 実施方法を概説できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < A1～4, B-2-1)～2)/ 必-1-B, 必-8-A, 必-8-B > | 伊藤孝訓 |
| 5月26日(木) 1時間 9:00～9:50 | 医療面接(2) 1) 医療面接スキルの4要素 2) 歯科医療面接 | 【準備学習項目】 ・医療面接の目的について説明できる。 【講義】 ・医療面接の4要素(尋ねる, 聴く, 答える, 観察する)について説明できる。 ・望ましい基本的態度を説明できる。 ・コミュニケーションスキルを挙げて説明できる。 ・非言語的コミュニケーションを説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < A-4, B-2-1)～2)/ 必-8-B > | 青木伸一郎 |
| 6月2日(木) 1時間 9:00～9:50 | 医療面接(3) 1) ロールプレイ 2) トランスクリプト | 【準備学習項目】 ・コミュニケーションスキルについて説明できる。 【講義】 ・信頼関係を確立するための医療面接スキルを説明できる。 ・ロールプレイの目的や方法を説明できる。 ・トランスクリプトの目的や方法を説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < A-4, B-2-1)～2)/ 必-8-B, 必-10-A > | 青木伸一郎 |
| 6月9日(木) 1時間 9:00～9:50 | 医療面接(4) 1) メディカルコーチング 2) 患者教育 | 【準備学習項目】 ・コーチングについて説明できる。 【講義】 ・メディカルコーチングを説明できる。 ・聴く態度の重要性を説明できる。 ・効果的な説明の仕方を説明できる。 ・患者教育の重要性を説明できる。 ・患者教育のためのコーチングスキルを説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < A-4, B-2-1)～2)/ 必-8-B, 必-10-A > | 内田貴之 |

| 日程 | 授業項目 | 授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準 | 授業担当者 |
|------------------------------|---|---|-------|
| 6月16日(木) 1時間 9:00～9:50 | 診療録(1) 1)診療録の構成 2)現症(全身的所見) 3)現症(口腔内・外所見) 4)口腔内診査 5)生活像 6)主訴 7)現病歴 8)既往歴 9)家族歴 | 【準備学習項目】 ・診療録に記載する内容について説明できる。 【講義】 ・診療録の構成を列挙できる。 ・現症の基本的な記載について説明できる。 ・口腔内診査の項目を列挙できる。 ・患者プロフィールの重要性を説明できる。 ・主訴の定義と歯科特有の主訴を列挙できる。 ・現病歴の基本的な記載について説明できる。 ・医科的・歯科的既往歴の重要性を説明できる。 ・家族歴の重要性を説明できる。 LS:教科書,プリント,マルチメディアによる講義 < F-1-1)/ 必-5-A, 必-8-C, 必-10-B > | 岡本康裕 |
| 6月23日(木) 1時間 9:00～9:50 | 診療録(2) 1)POS 2)POMR | 【準備学習項目】 ・問題指向型診療録(POMR)について説明できる。 【講義】 ・POSについて解説できる。 ・POMRの記載項目を挙げて各々について説明できる。 ・診断思考に基づいた問診(病歴聴取)を説明できる。 LS:教科書,プリント,マルチメディアによる講義 < F-1-1)/ 必-5-A,B > | 岡本康裕 |
| 6月30日(木) 1時間 9:00～9:50 | 診 察(1) 1)口腔内診査 2)診査で何を診るか 3)理学的診査と病態 | 【準備学習項目】 ・歯科疾患の診断に必要な口腔内診査について説明できる。 【講義】 ・口腔の特異性と口腔病変に対する基本的な考え方を説明できる。 ・口腔内診査の特性について説明できる。 ・口腔内診査に用いる基本的な診査法の術式を説明し,各評価基準を列挙できる。 ・診査所見と病態の関連が説明できる。 歯の実質欠損 擦過診 温度診 電気診 水平・垂直打診 動揺度 ポケット測定等 LS:教科書,プリント,マルチメディアによる講義 < F-1-1)/ 必-10-B,C,F,G,H > | 岡本康裕 |
| 7月7日(木) 1時間 9:00～9:50 | 症候学(1) 1)症状と徴候から診る歯・歯髄・歯周疾患 2)症状と徴候から診る顎関節疾患 | 【準備学習項目】 ・齶蝕、歯髄疾患および歯周疾患について説明できる。 【講義】 ・齶蝕の症状,診査所見,病態を関連づけることができる。 ・歯髄疾患の症状,診査所見,病態を関連づけることができる。 ・根尖性歯周炎の症状,診査所見,病態を関連づけることができる。 ・辺縁性歯周炎の症状,診査所見,病態を関連づけることができる。 ・顎関節症の症状,診査所見,病態を関連づけることができる。 LS:教科書,プリント,マルチメディアによる講義 < F-2-4)-(4),F-3-3)-(1)～(4)/ 必-9-B, 必-11-D > | 内田貴之 |
| 7月14日(木) 1時間 9:00～9:50 | 症候学(2) 3)症状と徴候から診る歯科心身症 4)症状と徴候から診る嚢胞,腫瘍,口腔粘膜疾患 5)症状と徴候から診る疼痛の診断 | 【準備学習項目】 ・疼痛の臨床的特徴を説明できる。 【講義】 ・心身症症状,診査所見,病態を関連づけることができる。 ・顎口腔領域の軟組織・嚢胞・腫瘍疾患の症状,診査所見,病態を関連づけることができる。 ・口腔粘膜疾患の症状,診査所見,病態を関連づけることができる。 ・腫瘍の症状,診査所見,病態を関連づけることができる。 ・口腔疾患の痛みの臨床的特徴を説明する。 ・痛みの臨床分類と症状表現について説明する。 ・痛みの診断手順を説明する。 LS:教科書,プリント,マルチメディアによる講義 < D-4-6),F-2-4)-(3),F-4-5)/ 必-9-B, > | 多田充裕 |
| 7月21日(木) 1時間 9:00～9:50 | まとめ | 【準備学習項目】 ・歯科疾患の症状,診査所見,病態を説明できる。 【講義】 ・模擬患者(SP)の医療面接から実際に診断名を推理推論できる。 ・模擬患者(SP)の医療面接から実際に治療方針を立案することができる。 | 多田充裕 |